



Title	学びの道は北へ、大海へ：北大が目指すべきリカレント教育とは：配布資料・フライヤー
Author(s)	北海道大学大学院教育推進機構リカレント教育推進部
Issue Date	2023-03-14
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/88739
Type	lecture
Note	2023年3月14日に実施した、2022年度 北海道大学大学院教育推進機構リカレント教育推進部キックオフシンポジウム「学びの道は北へ、大海へ：北大が目指すべきリカレント教育とは」の配布資料およびフライヤー
Additional Information	There are other files related to this item in HUSCAP. Check the above URL.
File Information	2022_RecurrentEducation_flyer.pdf (フライヤー)



[Instructions for use](#)



HOKKAIDO
UNIVERSITY

二〇二二年度 北海道大学 大学院教育推進機構 リカレント教育推進部

キックオフシンポジウム

学びの道は

北へ、
大海へ

Recurrent
Education

～ 北大が
目指すべき
リカレント教育
とは～

大学がこれから社会の中で担っていく役割に、社会人が再び学ぶためのリカレント教育や、就業に必要な技能を再び学ぶリスキリング教育の提供があります。多くの大学でこれらの試みが始まっています。二〇二二年度に発足した北海道大学大学院教育推進機構リカレント教育推進部は、来年度より本学の特色を活かしたリカレント教育を企画し、学内外に提供していきます。

そのプログラムは、イノベーションを目指した企業との共創、地方自治体と連携した地域貢献や地域創生を目的とします。そのために、本学が有する札幌農学校創設に始まる百五〇年近い伝統、SDGsへの先駆的な取り組み、国立大学では最も多い十二学部と二十一大学院を擁する基幹総合大学の強み、自然豊かな北海道の風土、そして緑豊かな広大なキャンパスや研究フィールドの活用を構想しています。

今回のシンポジウムは、これまでリカレント教育の普及や実践に携わってきた方々をゲストにお招きし、高等教育におけるリカレント教育の現状を俯瞰します。そして、地域社会、行政、企業、研究者や、リカレント教育に関心をもつステークホルダーである参加者のみなさんから、本学のリカレント教育プログラムの展開について、異なる視点からの多様なアイデアをうかがう機会にしたいと考えています。今後の北海道大学のリカレント教育の動向を知りたいと考えている学内外の方、そして本学と連携してリカレント教育プログラムを実施したいと考えている企業や自治体の関係者の皆様のご参加をお待ちしています。

話題提供者



北海道大学校友会エルム会長
元DICC(株)代表取締役社長、取締役会長

杉江和男 イノベーションに繋がるリカレント教育

(株)慶應学術事業会 取締役 学術事業部長
慶應丸の内シティキャンパス セネラル・マネジャー

城取一成 「大人の学び」に大学が果たす役割とは何か

リカレント教育推進部 部長

川本思心

閉会挨拶



慶應丸の内シティキャンパス ラーニングファシリテーター マネージャー

保谷範子 「大人の学び」の支援を通して学んだこと

フリーアナウンサー

森順子

司会

挨拶

寶金清博

総長

山本文彦

理事・副学長ノ大学院教育推進機構 機構長



2023年3月14日(火) 18:30~20:30

Zoomウェビナーを用いたオンライン配信・要事前申込 3月7日(火)まで

参加無料・定員500名 お問い合わせ rec_office@ml.hokudai.ac.jp



HOKKAIDO
UNIVERSITY

主催：北海道大学大学院教育推進機構リカレント教育推進部
協力：大学院教育推進機構先端人材育成センター
大学院教育推進機構オープンエデュケーションセンター